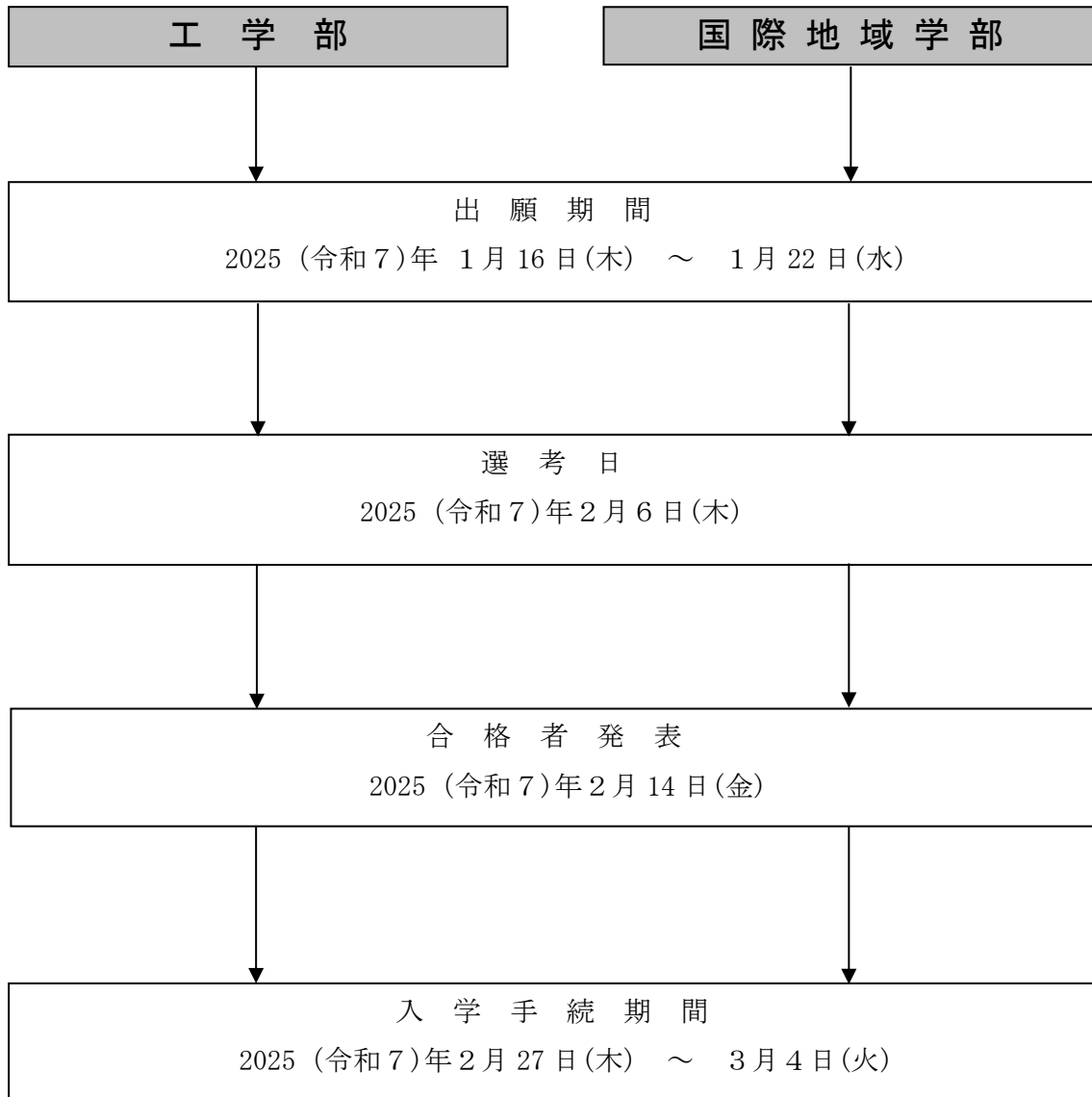


2025（令和7）年度
私費外国人留学生選抜
学生募集要項
（総合型選抜）

2024（令和6）年10月



2025（令和7）年度 福井大学私費外国人留学生選抜日程の概要



目 次

I	アドミッション・ポリシー	1
II	募集人員	8
III	出願資格	9
IV	出願手続	11
V	選抜方法等	15
	「感染症に関する注意事項について」	16
VI	合格者発表	17
VII	入学手続	17
VIII	個人情報の利用	17
IX	学生募集要項の請求	19

【TOEFL の DI コード】

福井大学 (University of Fukui) DI コード : 「0184」

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。[福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>]
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の 9:00～17:00 に、この学生募集要項を手元に置き、必ず志願者本人が行ってください。

I アドミッション・ポリシー

1. 工学部

(1) 工学部で養成する人材像

工学部では、「安全で安心な社会の創造」に寄与することを目的に、広く工学全般にわたって教育研究を行い、その成果を社会に還元します。この方針のもと、人材養成の基本コンセプトとして「グローバルな視点で夢を描き、それを形にできる技術者“グローバルイマジニア”の育成」を掲げ、安全で安心な社会の創造のための知識・教養、幅広い専門知識に裏打ちされた高度な専門能力、さらに歴史や文化、習慣の違いを超えて世界の人々と協働し、倫理観を持ち主体的に行動できる総合的な能力を備えた高度専門技術者を養成します。

各学科では、以下のような人材を養成します。

機械・システム工学科	多種多様な革新的機械・システム技術の創造や原子力の安全性向上に貢献し、ものづくりを通して、安全で安心な社会の構築と持続に貢献できる人材を養成します。
電気電子情報工学科	電気工学から発し、歴史とともに拡大・細分化してきた通信工学、半導体工学、計算機工学、情報工学の学問分野を広くカバーするカリキュラムにより、電気系、情報系の学問基礎の体系的な修得と両分野に跨る分野横断的な応用力と実践力を有する人材を養成します。
建築・都市環境工学科	建築学と土木工学の基礎を修め、社会基盤施設の維持・管理、国土の強靱化、少子高齢化社会への対応、環境調和型の生活空間の構築等の課題に真摯に取り組み、安全・安心で快適な社会生活環境の実現に貢献できる実践力ある人材を養成します。
物質・生命化学科	高性能・高機能な材料・繊維の創製に向けた教育・研究、化学製品の合成・開発・利用を指向した物質の探求、医学・農学と工学の融合分野への応用を目指したバイオテクノロジー教育などを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に向けて、地域社会から国際社会の様々な分野において活躍できる人材を養成します。
応用物理学科	工学の幅広い分野に対応できる確固とした理工学の知識・思考方法・応用能力を修得するとともに、総合的な実践力や産業関連知識を自ら学び、課題解決につなげる力、グローバルな行動力、倫理観を身につけた物理を中心とした基礎科学を応用展開できる人材を養成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

工学部では、養成する人材像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

1. グローバルイマジニアとして地域社会や国際社会に貢献する意欲を有する人
2. 高等学校教育またはそれに準ずる教育課程において、理工学分野の基礎となる知識及び実践力を習得している人
3. 正確な文章読解，論理的な記述，適切な表現などの基本的な言語運用能力を有する人
4. 豊かな人間性，周囲との協調性，奉仕の精神を有し，柔軟な発想力をもって課題解決に向け主体的に行動できる人

特に、各学科では以下のような入学者を求めます。

機械・システム工学科	<ol style="list-style-type: none">1. ものづくりに興味があり，機械工学・ロボティクス・原子力安全工学の基礎となる数学や理科が好きな人2. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学に関する専門的な知識を身につけたい人3. 機械工学・ロボティクス・原子力安全工学のエンジニアとして，ものづくりにより社会に貢献する意欲を有する人4. ダイバーシティ（多様性）を尊重し，全ての人活躍できる社会の構築に，エンジニアとして貢献する意欲を有する人
電気電子情報工学科	<ol style="list-style-type: none">1. 電気・電子・情報分野を伝承するとともに，新たな創造に挑戦したい人2. 電気，電子，コンピュータを学ぶための数学や物理が好きな人3. 論理的思考力を問題解決に活かしたい人
建築・都市環境工学科	<ol style="list-style-type: none">1. 建物のデザインや安全性，建築環境の改善や創造に興味を持つ人2. 社会基盤や都市のデザイン，安全性，都市環境の改善や創造に興味を持つ人
物質・生命化学科	<ol style="list-style-type: none">1. 物質や生命の不思議にワクワクする人2. 創造する化学にチャレンジしたい人3. 新素材，繊維，バイオに興味がある人
応用物理学科	<ol style="list-style-type: none">1. 物理や数学に基づいて，ものごとを基本に返って考える能力を有する人2. 先端科学技術分野への強い興味を持つ人3. ものづくりや実験の基礎となる知識・技能を有している人

(2-2) 入学までに学習しておくことが期待される内容

工学部では、高等学校段階までの数学や理科に関する基礎学力が十分身に付いていることを前提に専門教育を行います。また、それら以外の教科に関する知識も、ものごとを多面的にとらえ、専門知識を「安全で安心な社会の創造」に結び付けるための基礎となります。これらのことから、高等学校段階では、数学や理科はもちろん、それ以外についても幅広く学習し、視野を広げておくことを期待します。

(3) 入学者選抜の基本方針

多様な背景を持った学生の受入れを進めるため、一般選抜（前期日程，後期日程），学校推薦型選抜Ⅰ，総合型選抜Ⅱ，私費外国人留学生選抜，第3年次編入学試験を実施します。それぞれの選抜においては、求める学習成果を踏まえ、志願者の能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定します。

【一般選抜】

大学入学共通テスト並びに個別学力検査及び調査書を用いて評価・判定します。

<前期日程>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 応用物理学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，個別学力検査（数学，物理）により，数学と物理に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を，その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
建築・都市環境工学科 物質・生命化学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，個別学力検査（数学，物理又は化学）により，数学と物理又は化学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を，その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

<後期日程>

機械・システム工学科 電気電子情報工学科 建築・都市環境工学科 応用物理学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，個別学力検査（数学）により，数学に関する標準的な知識と理解に基づいて論理的に思考を展開する能力を，その過程や結果を表現する能力とともに評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。
物質・生命化学科	大学入学共通テストにより，基礎的学力を総合的に評価します。さらに，面接（口述試験を含む）により，目的意識・意欲，表現力等を評価します。以上の結果と調査書の内容により，能力・意欲・適性等を総合的に評価・判定します。

【学校推薦型選抜Ⅰ】

出身学校長の推薦に基づいて，大学入学共通テストを免除し，調査書等を活用して評価・判定します。

電気電子情報工学科	大学入学共通テストを免除し，推薦書，調査書，志願理由書，面接（口述試験を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
機械・システム工学科 （高大接続型入試） 建築・都市環境工学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し，推薦書，調査書，志願理由書及び面接（口述試験を含む）及びプレゼンテーションの結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。
物質・生命化学科 （高大接続型入試）	大学入学共通テストを免除し，推薦書，調査書，志願理由書及び面接（口述試験を含む）の結果を総合して能力・意欲・適性等を評価・判定します。

【総合型選抜Ⅱ】

大学入学共通テスト、書類審査、面接等を組み合わせて評価・判定します。

全 学 科 共 通	第1次選考では、書類審査により文章力や自己アピール力等の評価を行うとともに、調査書等に基づいて基礎学力の評価を行います。最終選考では、大学入学共通テストにより基礎学力を総合的に評価し、さらに面接（口述試験を含む）により、目的意識・意欲、表現力等の評価及び理数系科目の学力を評価します。以上を総合して、能力・適性や学習に対する意欲、目的意識等を評価・判定します。
-----------	--

【私費外国人留学生選抜】

真に修学を目的とした志願であることの確認も含め、能力・意欲・適性等を評価・判定します。

全 学 科 共 通	日本留学試験及びTOEFLの成績、並びに、面接、口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）及び出願書類により、日本語能力と理数系科目の学力を中心とした能力、意欲、適性、目的意識等を総合的に評価・判定します。
-----------	---

入学者選抜方針に基づき、以下の入試区分ごとに示す方法で、学力の3要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜します。多面的・総合的な評価・判定を行うにあたり重視するものに○を付しています。ただし、○を付していないものでも、その評価結果が著しく低い場合には、判定に大きく影響します。

学力の3要素		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
求める学習成果		<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校段階までに学ぶ幅広い教科・科目の知識・技能 ・工学部における学修の基礎である数学や理科に関する知識・技能 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記の知識・技能を課題の解決につなげるための思考力・判断力・表現力 	<ul style="list-style-type: none"> ・志望する学科の専門分野に対する強い興味 ・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	全学科	○ 大学入学共通テスト	○ 大学入学共通テスト ○ 個別学力検査	調査書
一般選抜 (後期日程)	MS, EI, AC, AP	○ 大学入学共通テスト	○ 大学入学共通テスト ○ 個別学力検査	調査書
	MB	○ 大学入学共通テスト	○ 大学入学共通テスト ○ 面接（口述試験を含む）	調査書
学校推薦型選抜Ⅰ	EI	○ 調査書 ○ 面接（口述試験を含む）	○ 面接（口述試験を含む） 志願理由書	○ 推薦書、調査書、志願理由書 ○ 面接（口述試験を含む）
学校推薦型選抜Ⅰ (高大接続型入試)	MS, AC, MB	○ 調査書 ○ 面接（口述試験を含む）	○ 面接（口述試験を含む） 志願理由書	○ 推薦書、調査書、志願理由書 ○ 面接（口述試験を含む） ○ プレゼンテーション（MS, AC）
総合型選抜Ⅱ	全学科	○ 大学入学共通テスト ○ 調査書	○ 大学入学共通テスト ○ 面接（口述試験を含む） 志願理由書 自己推薦書	○ 自己推薦書、調査書、志願理由書 ○ 面接（口述試験を含む）
私費外国人留学生選抜	全学科	○ 日本留学試験成績証明書 ○ TOEFL	○ 面接及び口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）	○ 面接及び口述試験（簡単な筆記試験を行う場合もある）

MS:機械・システム工学科, EI:電気電子情報工学科, AC:建築・都市環境工学科, MB:物質・生命化学科, AP:応用物理学科

2. 国際地域学部

(1) 国際地域学部において養成する人物像

国際地域学部では、地域や国際社会が抱える複雑な諸課題を探究し、課題解決を実現するための実践的・総合的な能力を身につけることによって、地域の創生を担いグローバル化社会の発展に寄与できる人材を育成します。

(2) 求める学生像

(2-1) 求める学生像

国際地域学部では、養成する人物像を踏まえ、以下のような学生を求めます。

- ①グローバル化によって地域から国際社会にまで起こっている複雑な諸課題について関心をもち、それについての探究を深め、課題解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲のある人。
- ②課題の探究と解決に向けて、必要となる専門的な分野の学習に取り組む意欲を持つとともに、課題解決の方法を探り、他の人と協働して実践的に取り組んでいくことに積極的である人。
- ③世界共通語的性格をもつ英語をはじめとして、多文化社会の中で活躍できる外国語コミュニケーション能力を身につけることに意欲を持ち、他の人との対話を通して、活動を広げ深めようとする人。

(2-2) 入学前に学習しておくことが期待される内容

国際地域学部では、高等学校あるいはそれに準ずる教育課程において学習する基礎的学力が十分身につけていることを前提に、英語能力を含む人文・社会科学分野を中心とした専門的知識・技能に加えて、現代の複合的な課題を理解し解決するために必要なデータサイエンス等の自然科学分野の基礎的知識・技能も修得します。そのため、高等学校段階までに学ぶ各教科について、十分な基礎的学力を身につけておくとともに、国や地域、文化や言語の多様性に目を向け、文系・理系の枠組みにとらわれず幅広い学問領域や現代社会の諸課題に対する興味を育んでおくことが期待されます。

(3) 入学者選抜の基本方針

様々な資質と背景を持った学生を受け入れるため、以下のような多様な入学者選抜を実施し、それぞれの選抜において、求める学生像にふさわしい能力・意欲・適性等を多面的かつ総合的に評価します。

【この募集要項は⑥について記載しています。】

①一般選抜（前期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、教科・科目の学力を重視した学力検査を実施し、専門分野の学習に必要な知識・能力を評価します。

②一般選抜（後期日程）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、小論文を課し、国際・地域社会に関わる課題を提示して論述させ、思考力・分析力・表現力を総合的に評価します。また、面接を実施し、国際・地域の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

③学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す）

幅広い基礎学力を総合的に評価するために、大学入学共通テストを課します。さらに、面接を実施し、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

④総合型選抜Ⅰ（高大接続型入試）（大学入学共通テストを課さない）

大学入学共通テストは免除し、第1次選考では、高校での取り組みやその成果に関するレポート等により、取り組みの内容と文章力及び自己アピール力等を評価します。さらに、提出された調査書等に基づき基礎的学力の評価を行います。最終選考では、取り組みに対するプレゼンテーション及び面接（口述試験を含む。）により、国際・地域社会の諸課題に取り組む意欲・資質・適性等を評価します。

⑤私費外国人留学生選抜

出願書類（志願理由書，学習計画書）及びインターネットを利用した面接によって，日本語能力と国際地域学部で学ぼうとする意欲・資質・適性等を測ります。これらに日本留学試験と英語能力試験の成績を加えて総合的に評価します。

⑥私費外国人留学生選抜（外国人特別枠）

海外在住外国人を対象とし，英語能力試験の成績，日本語能力試験の成績，出願書類（志願理由書，推薦書，成績証明書）及びインターネットを利用した面接に基づき，総合的に評価します。

上記の入学者選抜方針に基づき，以下の入試区分ごとに示す方法で，学力の3要素等を多面的・総合的に評価・判定し，入学者を選抜します。なお，評価を行うにあたり，重視するものに○を付しています。学力検査の詳細と配点については募集要項に記載します。

入試区分	入学者選抜方法	基礎的な知識・技能	知識・技能を活用して，自ら課題を発見し，その解決に向けて探究し，成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持ち，多様な人々と協働しつつ学習する態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
	調査書			○
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	○	○	
	面接（口述試験を含む）	○	○	○
	推薦書			○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
総合型選抜Ⅰ (高大接続型入試)	高等学校等での取り組みとその成果に関するレポート	○	○	○

	プレゼンテーション			○
	面接（口述試験を含む）	○	○	○
	調査書	○		○
	志願理由書		○	○
私費外国人留 学生選抜	志願理由書		○	○
	学習計画書	○	○	○
	面接	○	○	○
	日本留学試験・TOEFL	○		
	成績証明書	○		
私費外国人留 学生選抜 （外国人特別 枠）	面接	○	○	○
	志願理由書		○	○
	推薦書			○
	日本語能力試験	○		
	成績証明書	○		

Ⅱ 募集人員

学 部	学 科	募 集 人 員
工 学 部	機械・システム工学科	各学科 若 干 名
	電気電子情報工学科	
	建築・都市環境工学科	
	物質・生命化学科	
	応用物理学科	
国際地域学部	国際地域学科	若 干 名

工学部の所属コース等の決定

機械・システム工学科（総合型選抜Ⅱ（特別枠）を除く）、電気電子情報工学科、建築・都市環境工学科、物質・生命化学科において、所属するコースは、2年次後期終了時まで本人の希望と入学後の成績等により決定します。

各学科のコースは次のとおりです。

【工学部】

学 科	コ ー ス	コース配属時期等
機械・システム工学科	機械工学コース	応用物理学科を除く各学科のコース選択は2年次後期終了時までに行い、その後各コースへの配属となります。 なお、機械・システム工学科の原子力安全工学コースの学生は、コース配属の3年次から敦賀キャンパスにおいて教育を受けます。
	ロボティクスコース	
	原子力安全工学コース	
電気電子情報工学科	電子物性工学コース	
	電気通信システム工学コース	
	情報工学コース	
建築・都市環境工学科	建築学コース	
	都市環境工学コース	
物質・生命化学科	繊維・機能性材料工学コース	
	物質化学コース	
	バイオ・応用医工学コース	
応用物理学科	※コース選択はありません	

Ⅲ 出願資格

1. 工学部

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で、次の【基礎資格】を有し、かつ、【要件】を満たしている者

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（2025（令和7）年3月31日までに修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
なお、上記12年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合修学期間が通算3年以内であること
- (2) 日本の学校教育制度における修学期間が通算3年以内の者で、次の①～③までのいずれかに該当する者で2025（令和7）年3月31日までに18歳に達するもの
 - ① 高等学校若しくは中等教育学校を2025（令和7）年3月31日までに卒業した者又は見込みの者で2025（令和7）年3月31日までに18歳に達するもの
 - ② 文部科学大臣の指定を受けた修業年限3年以上の専修学校高等課程の学科を文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は2025（令和7）年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験合格者（従前の大学入学資格検定合格者を含む）又は2025（令和7）年3月31日までに合格見込みの者
- (3) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- (4) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- (5) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- (6) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を有する者のうち、Aレベル試験を3科目以上合格（E評価以上）している者
ただし、「数学」1科目と「物理」、「化学」、「生物」のうち2科目の計3科目を含む
- (7) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- (8) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は2025（令和7）年3月31日までに修了見込みの者

【要件】

次に掲げるすべての要件に該当すること

- (1) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する2023年度（令和5年度）又は2024年度（令和6年度）日本留学試験（学部で指定する教科・科目）を受験している者
※2023年度の日本留学試験が中止になった一部の地域では、今年度の選抜に限り、2022年度日本留学試験の成績での出願を認める。
- (2) 2023（令和5）年1月以降に実施されたTest of English as a Foreign Language（TOEFL）を受験している者
※TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める。

- (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者

注. 工学部が指定する日本留学試験の教科・科目は 15 ページの「V選抜方法等」を参照してください。1 教科・科目でも受験していない者は、無資格者となるので注意してください。

2. 国際地域学部

日本国籍を持たず（日本国永住許可を得ている者を除く。）、出願時に日本国内に居住する者で、次の【基礎資格】及び【要件】を満たす者

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者（2025（令和 7）年 3 月 31 日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
なお、上記 12 年の課程には、日本の学校教育制度における修学期間も含まれるが、その場合は、修学期間が通算 3 年以内であること
- (2) スイス民法典に基づく財団法人国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者
- (3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者
- (4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者
- (5) グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格に 3 科目以上合格している者（評価 E 以上）
- (6) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められているヨーロッパ・バカロレア資格を有する者
- (7) 国際的な評価団体（WASC, CIS, ACSI, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる 12 年の課程を修了した者又は 2025（令和 7）年 3 月 31 日までに修了見込みの者

【要件】

次に掲げるすべての要件に該当すること

- (1) **独立行政法人日本学生支援機構が実施する 2023 年度（令和 5 年度）又は 2024 年度（令和 6 年度）日本留学試験（学部で指定する教科・科目）を受験している者**
※2023 年度の日本留学試験が中止になった一部の地域では、今年度の選抜に限り、2022 年度日本留学試験の成績での出願を認める。
- (2) 2023（令和 5）年 1 月以降に実施された Test of English as a Foreign Language (TOEFL) を受験している者
※TOEFL iBT Home Edition 及び TOEFL ITP Plus for China 等も認める。
- (3) 出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）に規定する「留学」の在留資格を有する者又は入学時に「留学」を取得できる見込みの者
注. 国際地域学部が指定する日本留学試験の教科・科目は 15 ページの「V選抜方法等」を参照してください。1 教科・科目でも受験していない者は、無資格者となるので注意してください。

IV 出願手続

1. 出願期間・方法

2025(令和7)年1月16日(木)～1月22日(水)16時まで**に必着**

- ※ 出願書類等は、本学所定の封筒に同封のうえ、学務部入試課へ郵送(簡易書留速達)するものとし、2025(令和7)年1月22日(水)16時まで**に必着**とします。
 ただし、期限後に到着した出願書類のうち、2025(令和7)年1月20日(月)までの発信局日付印のある**簡易書留速達郵便に限り**受理します。持参による出願は認めません。

2. 出願書類提出先

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

3. 出願書類

*は本学所定の様式です。本学ホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp/>)「受験生の方へ」内の「入試情報・募集要項」からダウンロードし、A4サイズで両面印刷をしてご使用ください。

●は検定料を振り込んだ後、インターネット出願サイトから印刷してください。

	書類等	摘要
*	入学志願票	本学所定の様式に、必ず自書してください。
*	受験票・写真票	縦4cm×横3cmの写真(正面向き、無帽、上半身、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの)を各1枚貼付してください。
●	出願確認票 (検定料振込の証明)	インターネット出願サイトにより手続を行います。 14ページ「IV. 5. 検定料振込の流れ」をご確認ください。
	出願資格証明書 及び成績証明書	<p>【工学部】</p> <p>基礎資格(1)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国において在学した出身高等学校長が作成した卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書及び成績証明書 <p>基礎資格(2)の①, ②の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省所定の様式による調査書(出身学校長が作成し、厳封したもの) <p>基礎資格(2)の③の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校卒業程度認定試験合格者(従前の大学入学資格検定合格者含む)は、調査書に代えて「合格証明書」及び「合格成績証明書」 ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目を免除された場合は、その免除された科目の高等学校等の調査書又は成績証明書も必要 <p>基礎資格(3), (4), (5)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バカロレア資格取得者は、国際バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 ・ドイツ連邦共和国の各州においてアビトゥア資格を取得した者は、一般的大学入学資格証明書(写)及び成績証明書 ・フランス共和国においてバカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書(写)及び成績証明書

		<p>基礎資格(6)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書 <p>基礎資格(7)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 <p>基礎資格(8)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該課程の修了(見込)証明書(原本), 成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体の認定を受けていることを証明する書類 <p>【国際地域学部】</p> <p>基礎資格(1)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・諸外国において在学した出身高等学校長が作成した卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書及び成績証明書 <p>基礎資格(2), (3), (4), (5), (6)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際バカロレア資格取得者は, 国際バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 ・ドイツ連邦共和国の各州においてアビトゥア資格を取得した者は, 一般的大学入学資格証明書(写)及び成績証明書 ・フランス共和国においてバカロレア資格を取得した者は, バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 ・グレート・ブリテンおよび北部アイルランド連合王国においてジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格を取得した者は, その資格証書(写)及び成績証明書 ・欧州連合構成国においてヨーロッパ・バカロレア資格を取得した者はヨーロッパ・バカロレア資格証書(写)及び成績証明書 <p>基礎資格(7)の者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該課程の修了(見込)証明書(原本), 成績証明書及び当該教育施設が国際的な評価団体の認定を受けていることを証明する書類
*	志願理由書(様式1)	<p>【国際地域学部のみ】</p> <p>志願者本人が作成してください。なお, パソコン等を使用して作成する場合は, 別紙に印刷したものを所定の様式に貼付してください。</p> <p><作成上の注意></p> <p>あなたの志願理由について, 「求める学生像(5ページ参照)」に該当することがわかるように, 具体的に600字程度で記入してください。(日本語で記入すること。)</p>
*	学習計画書(様式2)	<p>【国際地域学部のみ】</p> <p>志願者本人が作成してください。なお, パソコン等を使用して作成する場合は, 別紙に印刷したものを所定の様式に貼付してください。</p> <p><作成上の注意></p> <p>あなたの学習計画について, 具体的に900字程度で記入してください。(日本語で記入すること。)</p>
	日本留学試験の受験票(写)	<p>2023(令和5)年度又は2024(令和6)年度日本留学試験の受験票の写し(受験番号が記載されているもの)。なお, 複数回受験した者は, 成績の利用を希望する回の受験票(写)を提出してください。2023年度の日本留学試験が中止になった一部の地域では, 今年度の選抜に限り, 2022年度日本留学試験の成績での出願を認める。</p>
	TOEFLのスコア票	<p>Test of English as a Foreign Language (TOEFL)のスコア票については, <u>①又は②を提出してください。</u></p>

		<p>①「Test Taker Score Report」の原本とそのコピーを1部（A4サイズ）、出願書類と一緒に提出してください。</p> <p>②「Official Score Report」は、2025（令和7）年1月22日（水）までに福井大学へ届くようアメリカETSに手続を行ってください。大学へ送付されるまでに1ヶ月以上の期間を要する場合もあるので早めに手続をしてください。</p> <p>なお、本学（University of Fukui）のTOEFLのDIコード（Designated Institution Code）は、「0184」です。</p> <p>【注意事項】</p> <p>1. 出願期間最終日までに「<u>Test Taker Score Reportの原本</u>」又は「<u>Official Score Report</u>」が届いていない場合には、<u>出願は無効となります</u>のでご注意ください。</p> <p>2. 「<u>Test Taker Score Report</u>」及び「<u>Official Score Report</u>」は、<u>2023（令和5）年1月以降に実施されたもの</u>に限ります。</p> <p>3. 「Test Taker Score Report」を提出した場合、原本は受験票と一緒に返送します。</p>
	住民票等	<p>【工学部】</p> <p>本邦在留の外国人は、市区町村長発行の住民票（本人に係るすべての事項を証明したもの）を提出してください。海外居住者は、住民票の代わりにパスポートのコピー（姓名、国籍及び在留資格が記載されたページ）を提出してください。なお、在留資格が「留学」以外の者は、在留資格に係る承諾書（本学所定の様式）を提出してください。</p> <p>【国際地域学部】</p> <p>市区町村長発行の住民票（本人に係るすべての事項を証明したもの）又は在留カードのコピー（両面）を提出してください。</p>
*	あて名票	合格通知及び入学手続書類の送付に使用するので、出願後受信場所が変更となった場合は、速やかに連絡してください。
*	返信用封筒（受験票送付用）	市販の封筒（長形3号、テープのり付きのもの）に本学ホームページからダウンロードした表紙を貼り、本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、320円分の切手を貼付してください。
*	出願用封筒	市販の封筒（角形2号）に本学ホームページからダウンロードした表紙を貼り、必要事項を全て自書し、簡易書留速達で郵送してください。

※出願書類中、外国語で書かれた証明書及び文書等には、日本語訳を必ず添付してください。

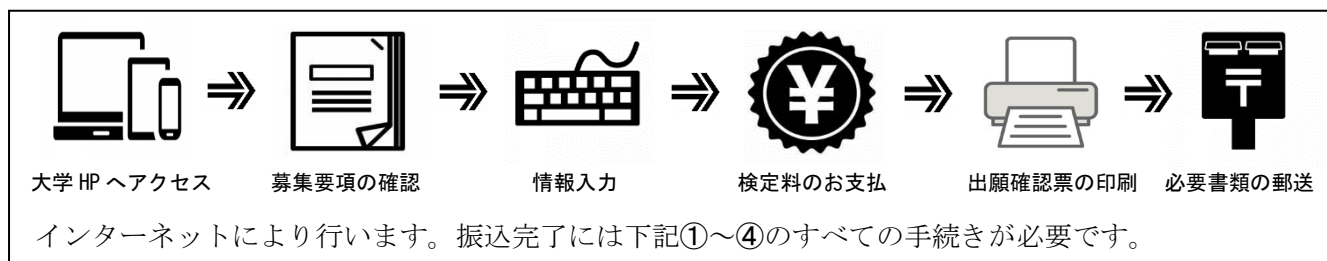
4. 出願上の注意事項

- (1) 出願資格等入学試験に関する問い合わせは、期間に余裕をもってメールにより行ってください。
学務部入試課メールアドレス g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp
- (2) 受理後の出願書類等は、どのような事情があっても返還及び記載事項の変更を認めません。なお、志願者には、出願期間終了後、受験票を送付します。2025（令和7）年1月31日（金）までに受験票が到着しない時は、学務部入試課に問い合わせてください。
- (3) 出願書類等に不備がある場合は、受理できないことがあるので十分注意してください。
- (4) 出願書類等に偽造、虚偽記載、剽窃等、その他試験の公平性を損なう恐れのある場合は、不正行為となり、出願を認められないことがあります。また、出願受理後でも出願の取り消しや、入学後であっても入学を取り消すことがあります。なお、その場合、検定料及び入学料は返還しません。
- (5) 本学入学志願者で、病気・負傷や障がい等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、以

下のおり本学学務部入試課（電話 0776-27-9927）に出願前申請を行ってください。
また、期限後にやむを得ない事情等により申請が必要となった場合には、速やかに相談してください。

1. 出願前申請の期限
2024（令和6）年 12月 27日（金）まで
2. 事前相談の申請方法等
本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）「トップページ」→「受験生の方へ」→「入試情報・募集要項」内の「障がいのある入学志願者等の事前相談」から確認してください。

5. 検定料振込の流れ



- ① インターネットサイトによる情報の入力
インターネットサイトへは、本学ホームページ（<https://www.u-fukui.ac.jp/>）からアクセスできます。
「受験生の方へ」→「入学者選抜インターネット出願」→「インターネット出願サイト URL（<https://www.guide.52school.com/guidance/net-u-fukui/>）」→「出願手続き・検定料のお支払い」→「その他の入試 ※検定料のお支払いのみ」
情報入力可能期間
2025（令和7）年 1月 9日（木） 9時～1月 22日（水）16時
※出願期間とは異なります。
- ② 検定料の支払
検定料 17,000 円
検定料の詳細は、下記の「検定料の支払方法」を参照してください。
- ③ 出願確認票の印刷
- ④ 出願確認票等の郵送

（注）インターネットでの情報入力及び検定料の支払を行っただけでは出願手続完了とはなりません。出願期間内に、出願書類を郵送（必着）することで完了となります。

「検定料の支払方法」

1. 検定料 17,000 円
検定料の他に、支払手数料（自己負担）が必要です。
2. 支払期間
2025（令和7）年 1月 9日（木） 9時～1月 22日（水）16時
※出願期間とは異なります。
ただし、出願書類等は、出願期間最終日 16時までに提出であることに特に注意して早めに支払ってください。

3. 支払方法 コンビニエンスストア，銀行 ATM（Pay-easy での支払），クレジットカード（VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club）及びネットバンキングのいずれかで支払可能です。
4. 支払に際しての留意事項
 ア. 銀行窓口での支払はできません。
 イ. コンビニエンスストアに設置されている銀行 ATM での支払はできません。
 ウ. クレジットカード及びネットバンキングの名義は，志願者と同一である必要はありません。
 エ. 支払手数料は，入学志願者本人の負担となります。
5. 検定料の返還に関する留意事項
 出願書類を受理した後は，次の場合を除き，いかなる理由があっても支払済の検定料は返還しません。
 次の該当者は，速やかに本学学務部入試課に問い合わせてください。
 ア. 検定料を支払ったが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 イ. 検定料を誤って二重に支払った場合

※振込先口座が日本国外の金融機関の場合，振込手数料等は入学志願者である本人の負担となります。（本学に振り込まれた金額から手数料等の差額分を返還します。）

V 選抜方法等

1. 選考日及び場所

2025(令和7)年 2月6日(木) 福井大学(文京キャンパス)

学部	時間	試験科目等
工学部	13:00 ~ 13:15	受付(受付場所 総合研究棟 I 1F)
	13:30 ~	面接及び口述試験(簡単な筆記試験を行う場合もある)
国際地域学部	8:30 ~ 8:45	受付
	9:15 ~	面接(インターネットを利用)

<注意点>

【工学部】

1. 受付場所は，裏表紙の建物配置図を参照してください。
2. 受験の際は，福井大学受験票とともに，日本留学試験の受験票を必ず持参してください。
3. 試験開始時刻に遅刻した場合は，試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り，受験を認めます。
4. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は，失格となります。
5. 試験中，携帯電話，スマートフォン等の電子機器類は，試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切っておいてください。携帯電話を時計代わりに使用することはできません。
6. 面接の終了時刻は，受験者により異なります。
7. 受験者は，風雪害等による交通機関の遅れ等を考慮し，余裕をもって到着するように十分注意してください。万が一，風雪害，交通障害等により試験実施日時等を変更する場合は，本学ホームページに随時情報を掲載してお知らせします。

【国際地域学部】

1. 日本留学試験, TOEFL, 本学が実施する学力検査 (インターネットを利用した面接) の成績及び出願書類 (志願理由書, 学習計画書) により選考するため, 来学する必要はありません。
2. 試験開始時刻に遅刻した場合は, 試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り, 受験を認めます。
3. 本学が課す試験を一部でも受験しなかった場合は, 失格となります。
4. 面接の終了時刻は, 受験者により異なります。
5. 面接はオンライン (Zoom を利用) により実施します。志願者は, Zoom に必要な機器 (カメラ及びマイク付きのパソコン等) 及び良好で安定的なインターネット環境の整った会場 (自宅の部屋等) を確保してください。
6. Zoom の使用方法等について, 本学でのサポートは行いません。なお, Zoom の使用にかかる通信料は志願者の負担とします。
7. Zoom の URL 等については, 入学志願票に記入したメールアドレスに通知します。

2. 選抜方法

日本留学試験, TOEFL, 本学が実施する学力検査等の成績及び出願書類を総合して行います。本学が指定した日本留学試験及び TOEFL の教科・科目を一部でも受験していない者は無資格者となるので, 出願前に志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって必ず本人の責任で確認してください。なお, 無資格者は本学が実施する学力検査を受験できません。

学部	日 本 留 学 試 験				TOEFL	本学が実施する学力検査等
	日本語	理 科	総合科目	数 学		
工学部	○	○ 物理・化学・生物 から2科目	×	○ コース2	○	面接及び口述試験 (簡単な筆記試験を行う場合もある)
国際地域学部	○	×	○	×	○	面接 (インターネットを利用)

<注意点>

1. 日本留学試験の出題言語は, 日本語とします。
2. ○印は当該試験を課すことを, ×印は課さないことを示します。
3. 国際地域学部の面接において, 英語で質問し, 英語で回答を求める場合があります。
4. 国際地域学部の面接において, 受験者ごとの面接開始時刻は, 試験当日に発表します。

「感染症に関する注意事項について」 ※国際地域学部受験者を除く。

試験当日に, 学校保健安全法施行規則で出席停止が定められている感染症 (新型コロナウイルス感染症, インフルエンザ, 麻しん等) に罹患し治癒していない場合は, 他の受験者や監督者等への感染のおそれがありますので, 受験は認められません。ただし, 症状により学校医, その他の医師において感染のおそれがないと認められたときは, この限りではありません。万全の体調で試験に臨めるよう, 感染予防対策を励行し, 自己の健康管理を徹底するように注意してください。

なお, 上記理由により受験できなかった場合, 追試験は実施せず, 検定料の返還も行いません。

※感染症の状況に応じて変更する場合があります。変更となった場合は, 本学ホームページの「受験者の方へ」内でお知らせします。

VI 合格者発表

2025(令和7)年 2月14日(金) 10時

注1. 本学ホームページ(<https://www.u-fukui.ac.jp/>)の「受験生の方へ」内で合格者の受験番号を発表するとともに、合格通知書及び入学手続関係書類を簡易書留速達郵便で送付します。不合格者への通知は行いません。また、電話等による照会には一切応じません。

注2. 試験当日等に、駅や試験場周辺で合否電話やメール等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係ないので、十分注意してください。

VII 入学手続

合格者には、合格通知書とともに「入学手続要項」等を送付するので、その内容をよく確認して手続を行ってください。

1. 入学手続期間と方法

2025(令和7)年 2月27日(木)～3月4日(火) 16時まで**に必着**

- 注1. **入学手続書類等は本学所定の封筒に同封のうえ、学務部入試課へ郵送(簡易書留速達)するものとし、入学手続期間内に必着**とします。
2. **入学手続期間後に到着したものは、いかなる理由があっても一切受理しない**ので郵便事情等を考えて早めに送付してください(期間前到着は可、持参提出は不可)。
3. 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したのものとして取り扱います。やむを得ない事情により期間内に郵送で入学手続ができない場合は、必ず事前に本学学務部入試課(電話 0776-27-9927)に電話で連絡してください。その後の入学手続は本学の指示に従ってください。

2. 入学手続書類の送付先

〒910-8507 福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

3. 入学手続時に要する経費

- ① 入学料 282,000円(予定額)
② 授業料 前期分 267,900円【年額 535,800円】(予定額)

授業料については、入学手続時に入学料と併せて前期分又は前・後期分を一括して納入することもできます。

注1. 入学時又は在学中に入学料・授業料改定が行われた場合には、改定時から改定後の額が適用されます。

2. 入学料・授業料の納入方法は、合格者に送付する「入学手続要項」に記載します。
3. 納入された入学料は返還しません。

4. 入学料徴収猶予と授業料徴収猶予

経済的理由により入学料及び授業料の納付が困難であると認められる者に対しては、申請により選考の上、入学料及び授業料の徴収を猶予することがあります。

詳細は、本学が送付する入学手続要項及び本学ホームページ等でお知らせします。

VIII 個人情報の利用

出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験の実施、②入学手続、奨学金等の制度の運用、③入学者の受入準備(学籍管理、履修準備含む)、④入試の改善や志願動向等の調査に使用する目的をもって福井大学が管理します。この目的の範囲内で福井大学の教職員が利用する場合及び本人の同意を得た場合のほかは、次に掲げる場合を除き、原則として、他の目的で利用

又は福井大学の教職員以外に提供することはありません。


- 1) 捜査機関が捜査上必要とした場合等，行政機関等が法令に定める業務等を行うに必要な限度で利用することについて相当の理由があるときに，当該行政機関に個人情報を提供する場合
- 2) 提出された出願書類等の個人情報を電算処理する場合で，当該電算処理に係る業務を外部の業者等に行わせるために当該業者に対する個人情報の提供が必要となった場合（なお，この場合には，当該業者に対して個人情報保護法の趣旨に則った保護管理の業務を契約により課すことになります。）
- 3) 提出された出願書類等の個人情報を，当該本人の権利利益を不当に侵害するおそれがない範囲で，学術研究の目的のために提供する場合

【問い合わせ先】 福井大学学務部入試課

Ⅹ 学生募集要項の請求

1. テレメールによる請求方法


(1) 福井大学ホームページからの請求方法

本学ホームページ (<https://www.u-fukui.ac.jp/>) 「受験生の方へ」内の「入試資料の請求方法」から  テレメールにアクセスしてください。

※本学ホームページ内の「受験生の方へ」では大学の概要や入試情報等も紹介しています。

(2) テレメールホームページからの請求方法


①  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン ・スマートフォン)	https://telemail.jp	 上記コードを読み取るだけでアクセスできます。
-------------------------------	---	---

②請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号
私費外国人留学生選抜学生募集要項	563242
大学案内	563240

③ガイダンスに従って申し込んでください。

- ・ 発送日のおおむね3～5日後に資料が届きます。
受付時間や地域、配達事情によっては到着まで1週間程かかる場合もあります。
- ・ 送料は資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。
(支払いに際して手数料が別途必要になります。)
- ・  テレメールでの請求についての問い合わせ先
テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30～18:00)

2. 大学への請求方法（できるだけ テレメールで請求してください。）

「私費外国人留学生選抜学生募集要項請求」と明記し、送付先（請求者）の郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて学務部入試課へメールまたはFAXにより申し込んでください。

「ゆうメール」の着払いで送付します。

E-mail : g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

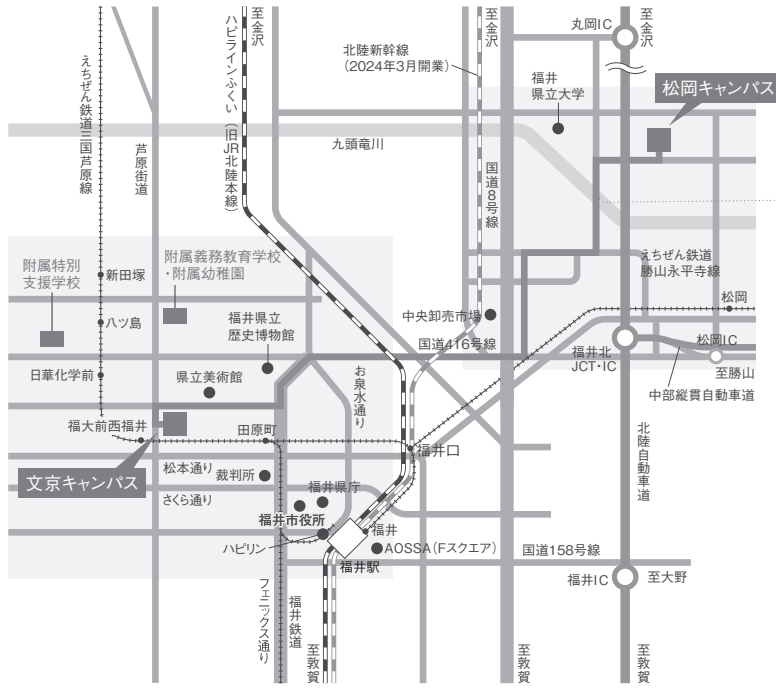
FAX : 0776-27-8010

3. 窓口での請求方法

本学窓口で配付します。（祝日を除く月～金曜日の9:00～17:00）

文・京キャンパス：福井市文京3-9-1 福井大学学務部入試課

福井大学位置図



両キャンパスを結ぶ連絡バスで移動できます。(約30分)

■文京キャンパス【教育学部・工学部・国際地域学部】への経路

- バス 福井駅—(約10分)—福井大学前下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場2番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅—福大前西福井駅下車
[福井駅東口から出て三国芦原線で約10分]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅—(約10分)—福井大学文京下車
[必ず「福井大学文京キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから国道416号線で西へ約7km
福井ICから国道158号線で西へ約8km

■松岡キャンパス【医学部】への経路

- バス 福井駅—(約35分)—福井大学病院前下車
[福井駅西口から出て市内バス乗り場1番から]
- 鉄道 えちぜん鉄道福井駅—松岡下車 バスに乗り換え約5分
[福井駅東口から出て勝山永平寺線で約20分+バス]
*西口前の福井鉄道(路面電車)ではありません。
- タクシー 福井駅—(約30分)—福井大学松岡下車
[必ず「福井大学松岡キャンパス」と伝えてください]
- 北陸自動車道 福井北JCT・ICから北へ約4km、又は丸岡ICから南へ約5km
*標識・バス停の福井大学病院は「福井大学医学部」の位置を指します。



■敦賀キャンパス【附属国際原子力工学研究所】への経路

- 鉄道 敦賀駅から徒歩で約3分
- 北陸自動車道 敦賀ICから敦賀バイパス国道8号線で約1km、国道476号線で西へ約1km、敦賀街道・国道8号線で南へ約3km

福井へのアクセス

大阪・京都方面から

- 電車 大阪・京都—湖西線経由—福井
(特急・新幹線で、京都から約1時間15分、大阪から約1時間45分)
- 自動車 大阪・京都—<名神>—米原JCT—<北陸>—福井・福井北JCT・IC
(京都から約2時間、大阪から約2時間30分)
- 高速バス 大阪・京都—<名神・北陸>—福井
(京都から約2時間30分、大阪から約3時間30分)

名古屋・静岡方面から

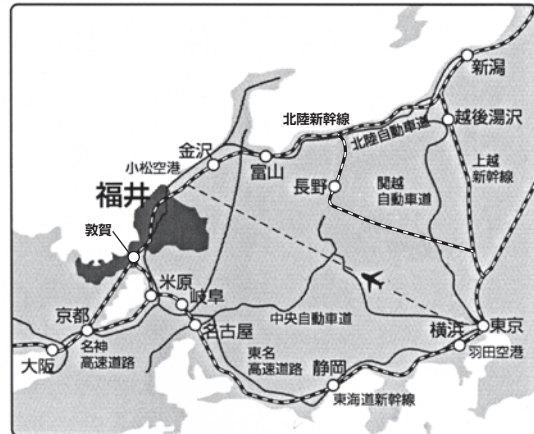
- 電車 名古屋・静岡—米原経由—福井
(名古屋から新幹線・特急で約1時間30分)
- 自動車 名古屋—<名神>—米原JCT—<北陸>—福井・福井北JCT・IC
(約2時間)
- 高速バス 名古屋—<名神・北陸>—福井(約2時間50分)

東京方面から

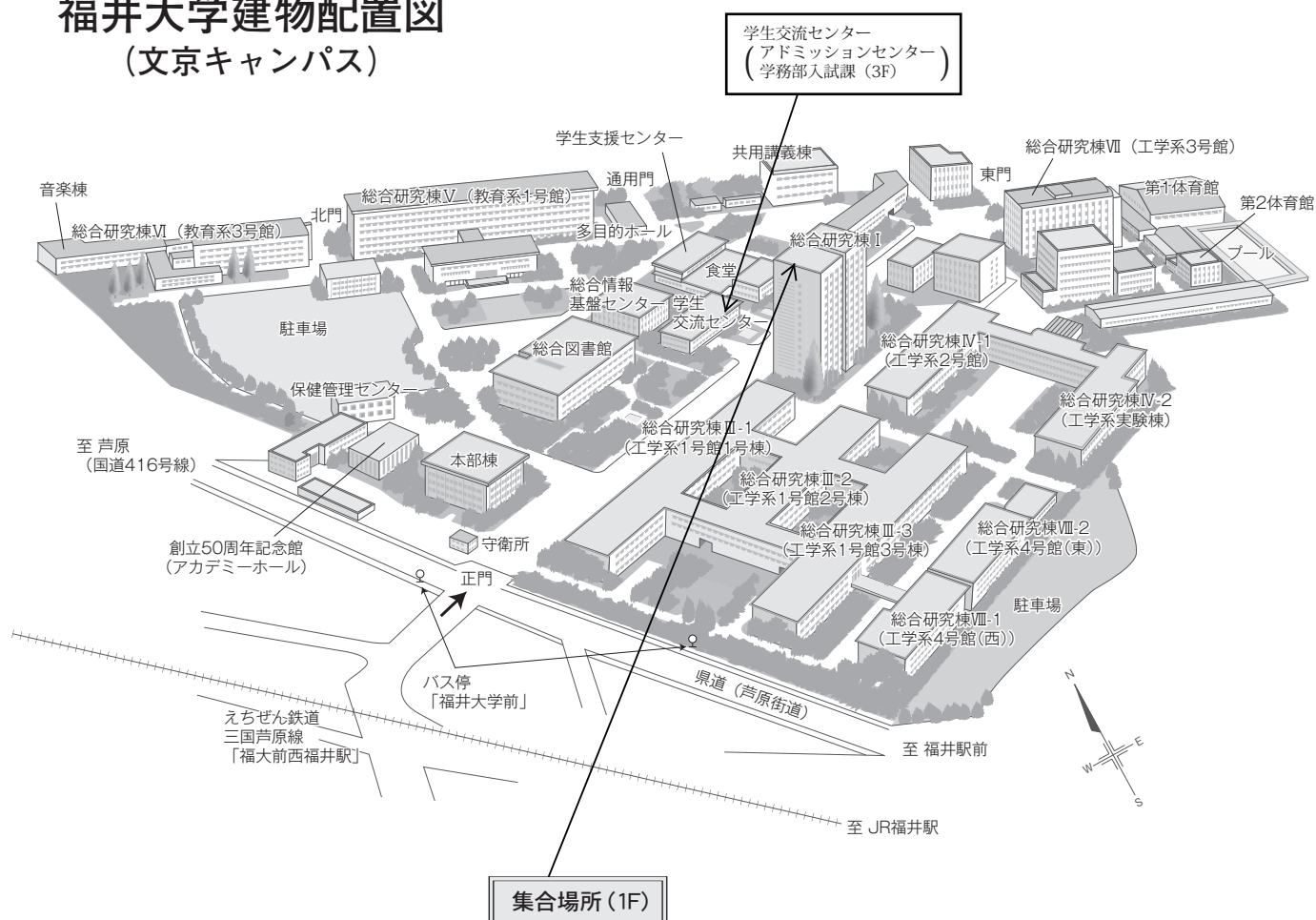
- 飛行機 東京羽田—小松空港(1時間)—福井(連絡バス1時間)
- 電車 東京—福井(新幹線約2時間50分)(直通)
東京—米原経由—福井(新幹線・特急約3時間30分)
- 自動車 東京—<東名・名神>—米原JCT—<北陸>—福井・福井北JCT・IC
(約6時間30分)

金沢・新潟方面から

- 電車 金沢・新潟—福井(金沢から新幹線で約20分)
- 自動車 金沢—<北陸>—丸岡—福井北JCT・IC(約1時間)



福井大学建物配置図 (文京キャンパス)



《受験に関する問い合わせ先》

福井大学学務部入試課

〒910-8507 福井市文京3-9-1

TEL 0776-27-9927

MAIL g-nyusi@ad.u-fukui.ac.jp

<注意>

- ・本入試に関するすべての事項は、志願者本人がこの学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。
- ・受験者に不利益を与えない範囲での変更を行う場合があります。その場合は、本学ホームページの「受験生の方へ」内でお知らせします。
〔福井大学ホームページ <https://www.u-fukui.ac.jp/>〕
- ・電話での照会は、祝日及び年末年始を除く、月～金曜日の9:00～17:00に、この学生募集要項を参照の上、必ず志願者本人が行ってください。